



連鎖



山口亜哉子

目次

運命.....2

Glass

空へ.....3

天秤

自由の牢獄.....4

微笑

〈キル〉5

声

仮面.....6

願い

奈落

増殖.....7

不幸

剣.....8

連鎖

嘲笑

逆説.....9

if

楽園.....10

白日夢

花火.....11

運命 ウンメイ 1998.4.17(fri)

私は 私
誰に何と言われても

私は 私
どんなに自分が嫌いでも

私は 私
他の誰にもなれない
だから

私は 私で
生きてゆく

Glass グラス 1998.5.7(thu)

張りつめた
硝子の糸を渡るような
危うげなバランス

切れそうで 切れない
息をひそめて
過ぎるのを待つ毎日

そして いつしか
奈落の底へと墮ちる日を
私は 待ちのぞむ

空へ ソラへ 1998.7.30(thu)

一人でそんなに澄まないで
手を伸ばしても 届かなくなる

私の全てを照らさないで
光の中を 歩けなくなる

天秤 バランス 1998.9.6(sun)

いやなこと
つらいこと
忘れてしまいたいことと
すきなこと
たのしいこと
忘れずにいたいことを
心のバランスにかけて
そっと ゆらしてみる

今は まだ
忘れずにいたいことのほうが
ちょっとだけ 重いから
だから
あと 少し
生きてみよう

自由の牢獄 ジュウノロウゴク 1998.9.6(sun)

空は 高く
世界は 広く
誰も 何も
私をさえぎらないのに
私は
一歩も動くことができない

見渡す限り
果てしなく続く草原は
どこにでもつながっていて
そして
どこにもつながっていないから

私は 光るやみの中

微笑 ビショウ 1998.9.6(sun)

死にたいと 思ったことだけは
一度もないのだけれど

今、この瞬間
外からの力が
全てを断ち切ってくれるのなら
それも、いいかな

と、ひとり微笑む。

〈キル〉 キル 1998.9.7(mon)

髪を切ったくらいで、
違う自分になれるのだったら、
世の中何も苦勞はしません。

けれども
そんな うすっぺらな希望にでもすがらなきゃ、
やってられない時もあるんです。

でも もし、
髪を切った自分にも絶望したままだったら、
次は 何を切れればいいのですか？

声 コエ 1998.9.11(fri)

人魚姫は、幸せです。

足のかわりに、声をなくした人魚姫。
嘘をつくことも、
他人を傷つけることも、
つまらない見栄を張ることも、
それで 自分が傷つくことも、
何ひとつないのですから。

海の魔女さま、
私の声はいりませんか？

仮面 カメン 1998.10.5(mon)

厚い化粧は 私の仮面
派手な洋服は 私の鎧
そうして 自分を隠さなければ
表にも出られない時もある

無意味な笑いは 私の仮面
空虚な明るさは 私の鎧

本当の私は いつも泣いてる

願い ネガイ 1998.10.9(fri)

このまま
明日の朝も 目が覚めなくて
その次の日も 目が覚めなくて

ずうっとずっと 眠り続けて

幸せな夢を 見ていられたら

奈落 ナラク 1998.10.14(wed)

奈落は すぐそばにある
一歩踏み出した先
鏡の中
何気ない言葉
周囲の視線
全てが 私を突き落とす

増殖 ゾウシヨク 1998.12.14(mon)

怖いのは
誰かと触れ合うと
その人の中に
別の「私」が生まれることです
その「私」を
私は決して見られないことです
誰かの中で
「私」が勝手に成長していくことです
私の知らないところで
私の知らない「私」が
どんどん増えていくことです

不幸 フコウ 1998.12.14(mon)

この世で一番の不幸？
決まってるわ
最愛の恋人と 引き離されることよ

いいじゃない 引き離されても
相手が自分を想ってくれているのなら
一番の不幸は
どれだけ愛しても 報われないことだわ

まだ いいわ
報われなくても その想いに浸ってられるだけ幸せ
もっと不幸なのは
自分には誰も愛することができないと 気付いたときよ

——どん底に突き落とされたような気になるわ

剣 ツルギ 1998.12.21(mon)

その 一言が
私の心を切り裂く
鋭く 深く
幾度でも甦る痛みとともに
私は 傷口を抱えたまま
ただにっこりと微笑む
何も知らぬ相手に
何も気付かれることのないよう

同じ 剣を
私もまた 持っているから
だから 私は
唇を閉ざして
声を殺して
ひたすらに 微笑み続ける

連鎖 レンサ 1998.12.22(tue)

崩れる
なだれてゆく
全てが
何もかもが
もう 止められない

嘲笑 チョウショウ 1998.12.22(tue)

平坦な道を歩いているつもりなの？
一歩先に 何が待つのかも知らないで
世界が 薄氷でしかないこと
その下は 闇すらない無であることも
気付いてないくせに

逆説 ギャクセツ 1998.12.22(tue)

気分が晴れやかだと 不安になるわ
この平穩は ニセモノじゃないの？
次はいつ 突き落とされるのって

気持ちが沈んでいると 安心するのよ
慣れているもの
これが 本当の私だもの

if イフ 1998.12.29(tue)

もしも願いが叶うなら
私の眠りを 奪って下さい
このまま眠れば悪夢を見ると
本に逃れる 夜の重たさ

もしも願いが叶うなら
私の涙を 奪って下さい
それが 私の意図でなくても
卑怯な女になるのは嫌です

もしも願いが叶うなら
私の声を 奪って下さい
無意味な会話が くるくるまわる
傷を隠して さらに傷つく

もしも願いが叶うなら...

ここで私を 殺して下さい

楽園 ラクエン 1999.5.7(fri)

どこか遠くへ 遠くへ行きたい
誰も私を知らないところへ
私がどこにもいないところへ

そこで私は 融けて流れて
名もない誰かになるでしょう
そしたら一から 時を重ねて
本当のわたしが見えるでしょうか？

けれどもそれは できない話
ちゃんとわかっているのです
それならせめて 眠りの国の
夢の電車で出かけましょう
七つの山と 七つの海と
虹の向こうの その場所へ

どこか遠くへ 遠くへ行きたい
誰も知らない どこか遠くへ

白日夢 ハクジツム 1999.7.19(mon)

ときどき 心が 宙に浮く
世界が 焦点を失う
一歩うしろへと さがる
音が 消える
私は ひとり

全てが 夢のようで
長い夢を 見ていたみたいで
けれども 目醒めはこない
永遠に

花火 ハナビ 2000.8.7(sun)

花火、はじける
火花、はじける
時間、はじける
心、はじける

生きてる、私
きっと、生きてる

連鎖

<http://p.booklog.jp/book/51682>

著者：山口亜哉子

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/ayaapril/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/51682>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/51682>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ